

GX Green Transformation

まちを変える 未来が変わる

GX：最近では、脱炭素に加えて、生物多様性も重要とされています。昨年12月下旬には、国連の「COP15」において、「30 by 30(2030年までに世界全体で陸地と海のそれぞれ30%以上を保全地域にする)」などが採択され、生物多様性の確保に向けた世界的な枠組みが決定されました。

環境政策課 ☎(584)4691 FAX(584)4818



明富中学校は独自の「環境学習カリキュラム」を作成して、学校ぐるみで生徒一人ひとりが熱心に環境について学び活動しています。

守山市は、平成29年に「環境学習都市宣言」を制定し、市民の皆さまが、環境について共に学び、考え、行動するために「もりやまエコ・パーク」を拠点に環境学習を推進しています。

宮本市長と明富中学校 北脇 匠生徒会長、川端花音副生徒会長の環境対談を実施しました。

アクションを起こすと環境は劇的に変えられる



みやもと かずひろ 市長

**守山の自然と環境意識
身近な自然体験と学びから**

市長 新環境センターの整備に合わせて、守山市の環境学習都市宣言は、環境学習はもうろん、琵琶湖や自然環境の保全などに取り組んでいます。明富中学校の北脇生徒会長と川端副生徒会長は、ともに環境活動に熱心に取り組んでいるので、ぜひこの対談を実現したかった。

北脇 小学生のころ、地元(美濃)で「大川自由研究室」に参加してプラントクン採取などをしました。おかげで美崎の子は皆、環境への関心が高いです。生徒会に立候補するとき「環境活動を学校から広めたい」と公約を掲げて当選しました。

川端 私が通っていた中洲小学校は野洲川のそばで、堤防のごみ拾いをしたり漁船で魚や植物を調べたりしていました。近くには田んぼもあって、それが当たり前だと思っていました。環境学習

成果になるまで時間がかかることを証明してくれました。

北脇 生まれてからずっと「琵琶湖は汚い」と思ってきました。きれいになった調査資料を見せてもらって勉強になりました。活動が

を通して改めて大切さを意識しました。

学習から創る未来

きれいな琵琶湖の体感から

市長 約10年前の大川は、一面水草に覆われていて、地元の方々が自ら汗を流し取り除いていた。環境が改善されました。赤野井湾では、大繁殖したオオバナミスズナバイ駆除も、湖底ごみ除去も、漁業組合や市民が力を合わせて取り組み、今、水質は確実に改善し、湖底も少しずつ砂地に戻り、淡水真珠の再生、固有種ホンモノコヤ貝など生態系も蘇りつつあり、湧き水も確認しています。人が環境を守るアクションを起こせば、環境が劇的に改善することを証明してくれました。



きたわき たくみ 生徒会長

発見ができます。例えば生徒会役員で胸長を着て、琵琶湖に入るなどの「胸長大作戦」を企画してもらえたらうれしいです。

思います。私もそのための努力をしていきたいと思っています。

川端 環境は世界共通の財産だと思います。使える資源は大切にしたい。中学生広場では5R(リデュース、リデュース、リユース、リペアル)サイクルの意見を発表しました。嘉田由紀子さんが環境学習のために学校に来ていろいろな話をしてくださった。県外の人々が琵琶湖のことを知り環境学習や活動に協力してくれて、うれしいと思いました。「琵琶湖の水は飲める」とおっしゃったことが印象に残っています。

市長 守山市には、身近に素晴らしい自然や環境があります。ぜひ、若い世代の皆さんが体感し、そこから、地球環境や琵琶湖のことを考えてほしいです。胸長を着て、琵琶湖に入ると「琵琶湖はきれい」「魚がたぐさいる」という



かわばた かのん 副生徒会長

※写真撮影の時のみマスクを外していただきました。